

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 71
R4. 12. 12
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

「校長室暗唱チャレンジ!」卒業特別課題

「日本国憲法前文」



来年3月に卒業を迎える6年生に、「校長室暗唱チャレンジ!」の卒業特別課題として「日本国憲法前文」を提示しました。日本国憲法前文を暗唱するという事は、暗唱だけを目的に取り組むものではありません。あくまでも憲法の重要な条項や、その精神をしっかりと学んだ上での発展的な課題です。ただ、日本国憲法の精神は、前文にしっかりと凝縮されているので覚える価値は十分にあります。

しかし、日本国憲法前文には、難しい言葉が多く使われていたり、一文が長文だったりするために、6年生の子どもにとっては抵抗が大きいです。

私は、子どもたちに次のことを話しました。

「憲法前文を暗唱することだけが大事なわけではありません。絶対に覚えてやる! なんとかやってみようじゃないか! という、暗唱に挑戦する意欲や気概をもって取り組もうとするエネルギーが大事なのです。」

「もし、憲法前文を暗唱することができたなら、中学校生活においてみんなの前に立ちちはだかるほとんどの壁(課題や問題、障壁)を乗り越えていくことができるでしょう。これぐらいの課題にへこたれるようでは、自分の夢を叶えることも難しいでしょう。」

6年生には、憲法前文暗唱の挑戦を通して、次のことを実感してほしいと願っています。

☆ 慣れるということは、思いもよらない力となること

(ノーベル賞受賞 湯川秀樹氏の言葉)

☆ 誰にでもできることを、誰にもできるくらいやれば絶対成功する

(コンサルタント 下川浩二氏の言葉)

☆ 夢をつかむということは、一気にはできません。小さな事を積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます

(元メジャーリーガー イチロー氏の言葉)

つまり、人生のほとんどの問題は、練習によって解決したり改善できたりするということです。

プロでミスしたシュート900本

負けたゲーム約300

ウイニングショットをはずしたこと26回

今までミスしてきた

何度も、何度も、何度も

だから、おれは成功する



(マイケル・ジョーダン NBA選手)

校長室前の暗唱チャレンジコーナーに掲示したものです。

6年生には、何度も、何度も、何度も失敗を繰り返し、成功体験を味わってほしいと思います!

6年生のみなさんの**勇気**ある**チャレンジ**を待っています!

裏面に「日本国憲法前文」を掲載しておきましたのでご覧ください。